

○計画期間:令和元年7月～令和7年3月(5年9か月)

○評価期間:令和4年4月～令和5年3月(令和4年度)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和4年度終了時点(令和5年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和元年6月に国の認定を受けた、高松市中心市街地活性化基本計画について、「来まい・住まい・楽しみまいーコンパクト・エコシティ たかまつー」をコンセプトに、計画に掲載された全49事業が活性化に向けた相乗効果をもたらすよう、官民が連携し、中心市街地の活性化に取り組んでいる。

計画に掲載された全49事業の進捗状況は、6事業が完了しており、34事業が継続実施中、9事業が未完了となっている。

令和4年度は、3年に1回開催されている「瀬戸内国際芸術祭」の開催年に当たり、開催期間合計105日間で、約72万人の来場者数を記録した。瀬戸内国際芸術祭2019との比較では、新型コロナウイルス感染症対策のための行動制限は発出されなかったものの、第7波と重なったことなどによって来場者が大幅減少し、全体としては約61%に留まった。

公共交通機関の利用者については、通勤通学による定期利用を除く乗降客が前年比115%となり、芸術祭に訪れた来場者や、GOTOキャンペーンが再開されたことで観光客の利用が増え、これらが歩行者通行量や主要観光施設入込客数の増加にも繋がったと考えられる。

現在計画から3年9か月が経過しているが、ハード整備事業については、概ね順調に進捗しており、「大工町ものづくり育成店舗事業」「大工町立体駐車場整備事業」が完了した。新型コロナウイルス感染症感染拡大抑制のため、入場人数を制限した開業ということもあり、丸亀町商店街の歩行者通行量の事業効果には直接的に表れていないが、オープンした施設は、観光情報誌に掲載されるなど、今後、広域的な集客が見込まれ、新たなにぎわいの創出や回遊の向上に繋がるよう期待したい。

またソフト事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大を抑制するため、各イベントが見合わされていたが、感染症対策を十分に踏まえながら、可能な限り従来の形式でのイベントや行事等を開催するなど、来街者の回遊促進につながる事業を継続的に実施しており、にぎわい創出に努めてきている。

新型コロナウイルス感染症の取扱いが5月8日に感染症第5類へ移行される予定であり、さらには今後、インバウンドの大幅な増加も予測されており、経済活動が活発化することにより、新しい生活様式に対応した中心市街地のにぎわいが創出できるよう、官民が連携を図りながら、一体となって取り組んでいく必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度1月1日)

(中心市街地 地域)	平成30年度 (計画前年度)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	
人口	20,629人	20,373人	20,185人	19,964人	19,969人	—	
人口増減数	△106人	△256人	△188人	△221人	5人	—	
自然増減数	△194人	△209人	△223人	△186人	△239人	—	
社会増減数	88人	△47人	35人	△35人	244人	—	
転入者数	1,036人	984人	1,002人	1,104人	1,114人	—	

(2) 地価

(基準日：毎年1月1日)

位置	平成30年 (計画前年度)	令和元年 (1年目)	令和2年 (2年目)	令和3年 (3年目)	令和4年 (4年目)	令和5年 (5年目)
磨屋町2番6外	408,000	423,000	440,000	438,000	438,000	445,000
築地町16番15	120,000	121,000	122,000	121,000	121,000	122,000
西の丸町10番6	241,000	244,000	248,000	247,000	247,000	250,000
御坊町10番16	133,000	134,000	135,000	132,000	130,000	129,000
南新町4番3	258,000	261,000	265,000	261,000	257,000	256,000
錦町一丁目210番	190,000	192,000	195,000	194,000	194,000	194,000
天神前7番4	154,000	156,000	158,000	158,000	158,000	158,000
藤塚町二丁目4番14	122,000	123,000	125,000	124,000	124,000	125,000
丸の内7番20	154,000	156,000	159,000	159,000	159,000	160,000
瓦町二丁目12番2	200,000	202,000	205,000	204,000	204,000	206,000
錦町一丁目269番1	147,000	152,000	158,000	159,000	160,000	161,000

2. 令和4年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

第3期基本計画の認定から3年9か月が経過する令和4年度末までの進捗状況として、全49事業のうち基幹事業である新県立体育館整備事業や高松駅周辺開発事業の着手など事業の進捗が見られるものの、34事業が継続実施中、9事業が未完了となっており、引き続き、事業の着実な進捗を図りたい。

目標指標の達成状況からみると、中心市街地内の主要観光施設年間入込客数については、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大幅に減少していたが、令和4年度は瀬戸内国際芸術祭2022の開催もあり、回復傾向となった。今後は高松空港の国際線定期運航の再開等を契機として、インバウンドによるさらなる回復を促し、入込客数の最大限の増加に努められたい。

また、中央商店街の歩行者等通行量については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感

染拡大前と比べ、通行量が減少しているものの、目標値は達成している状況である。

新規出店数については、令和4年度は昨年と比べ47店舗と増加しており、これまでの状況から改善されており、目標達成に近づいてきている。区域内のマンション完成による居住者が増加していることから、幅広い業種が出店する機会が増えることで、新規出店が期待できる。

一方で、中心市街地では、マンションの建設による居住人口が増加しつつあることから、目標達成に向け中心市街地への居住層をターゲットとした新規出店予定者を後押しするよう、創業支援制度や空き店舗を活用した出店補助等の施策の活用を進められたい。

中心市街地の社会動態並びに、ことடன்3駅の乗降客数については、目標値からの乖離が見られるが、次年度3棟の分譲マンションが竣工し、282戸の分譲が予定されていることから、各種施策を効果的に実施することにより、居住人口の増加を図るとともに、併せて公共交通の利用が促進されるよう、乗り継ぎサービスの向上を初めとする各種施策の推進に努められたい。

今後は、アフターコロナに向け、インバウンドの大幅な増加や経済活動の活発化が期待されていることから、官民が連携し、基本計画に位置付けられている中核事業の積極的な推進を行うことで、早期に目標指標が達成され、更なる中心市街地の活性化が図られるよう取り組んでもらいたい。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し							
目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
サンポートエリアにおける高次(広域)都市サービス機能の充実による誘客力の向上	中心市街地内の主要観光施設年間入込客数	2,744 千人 (H30)	2,890 千人 (R6)	1,834 千人 (R4) 充足率 63%	C	②	②
中心市街地の魅力発信による回遊性の向上	歩行者等通行量	92,639 人 (H29)	97,721 人 (R6)	117,052 人 (R4)	A	①	①
	新規出店数	216 店舗 (H26～H30 累計)	271 店舗 (R1.7～R7.3)	144 店舗 (R1.7～R4.12) 充足率 53%	C	②	②
拠点間交流と住環境の整備による地域価値の向上	中心市街地の社会動態	886 人 (H26～H30 累計)	1,373 人 (R1.7～R7.3)	377 人 (R1.7.1～R5.4.1) 充足率 27%	C	②	②
	ことでん3駅の乗降客	31,751 人 (H29)	32,057 人 (R6)	27,981 人 (R4) 充足率 87%	C	②	②
<p><基準値からの改善状況> A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない</p> <p><目標達成に関する見通しの分類> ①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない ※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。</p>							
<h3>2. 目標達成見通しの理由</h3> <p>1. 「中心市街地内の主要観光施設年間入込客数」について 高松シンボルタワー、玉藻公園、高松市美術館、香川県立ミュージアムの4施設の合計値となる、主要観光施設年間入込客数の令和4年度の結果は、瀬戸内国際芸術祭2022の効果もあり、芸術祭の会場となったサンポートエリアにある高松シンボルタワーの入場者数は、前年比111%となった。また玉藻公園の入場者数は、7月の桜御門の完成以降コロナ前と同様まで回復し前年比232%と上昇したものの、4施設を含めた全体としては目標達成は厳しい状況にある。</p> <p>2. 「歩行者等通行量」について</p>							

歩行者等通行量は、令和元年10月から、カメラによる計測を行っており、常時計測が可能となった。令和2年度からの新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通行量は減少していたが、瀬戸内国際芸術祭2022の開催により、サンポートエリアから商店街への回遊のほか、おもちゃ美術館の完成やGOTOキャンペーン再開など来街機会も増えてきており、感染症対策を講じた上で、可能な限り従来の形式でのイベント・行事等を実施できたことから、目標値を達成した。

3. 「新規出店数」について

新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが緩和されたことで、出控え傾向であった人流が回復し、夜の飲食店利用や国際線の定期運航再開による訪日客の再訪など、個人消費は持ち直しの傾向にある。令和4年度の新規出店数は、47店舗と回復傾向となり、これまで状況からは改善されており目標達成に近づいてきているが、近年の原材料の高騰や物価上昇の影響は依然として残ることが予想されるため、今後の状況を確認していきたい。

4. 「中心市街地の社会動態」について

令和4年度の中心市街地の社会動態については、令和3年度竣工予定であった2棟の大型タワーマンションが本年度に入り完成となり、令和4年度中に合計5棟竣工した。このことにより中心市街地の社会動態は297人となり、前年の103人から194人増加し、令和元年からの合算値では377人となった。次年度も3棟のマンションが完成予定であり、社会動態は増加するものと思われるものの、景気の悪化や物価の高騰等により、マンションの販売戸数に影響が出ることも懸念されることから、目標達成の見通しは厳しい状況にある。

5. 「ことடன்3駅の乗降客」について

令和4年のことடன்主要3駅の乗降客数は、瀬戸内国際芸術祭2022の開催によって、観光客利用が増加したものと考えられ、定期利用を除く乗客数が前年比115%と増加したものの、通勤通学の定期利用は前年比104%とほぼ横ばい傾向、新型コロナウイルス感染症感染拡大前の令和元年比93%と目標値を下回った。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

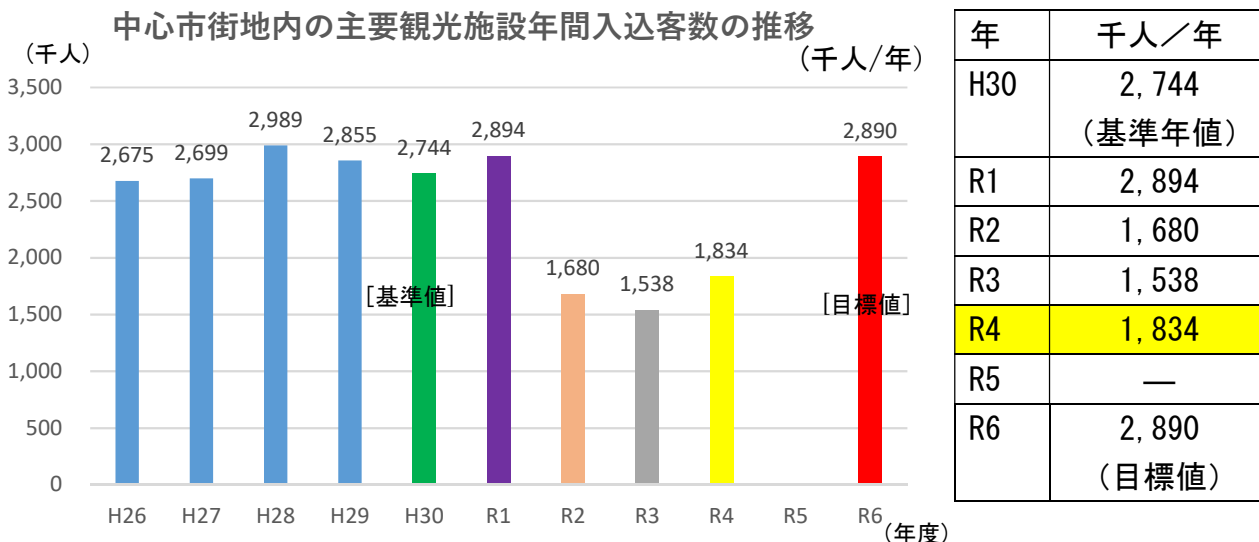
前回から変更はない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「中心市街地内の主要観光施設年間入込客数」

※目標設定の考え方基本計画P94～P97参照

●調査結果の推移



*高松市美術館はH27年1月14日～H28年3月25日の間、改修工事のため長期休館

※調査方法：各施設への聞き取り

※調査月：各年1月～12月の施設利用者数

※調査主体：高松市

※調査対象：主要観光施設4か所（高松シンボルタワー、玉藻公園、高松市美術館、香川県立ミュージアム）で計測

(単位：人)

	平成30年度 (計画前年度)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)
高松シンボル タワー	2,316,000	2,381,000	1,408,000	1,303,000	1,449,000	
玉藻公園	199,677	247,050	93,555	78,741	182,692	
高松市美術館	114,228	143,196	138,501	121,084	143,039	
香川県立ミユ ージアム	113,665	122,944	39,936	34,929	59,162	
合計	2,743,530	2,894,190	1,679,992	1,537,754	1,833,893	

〈分析内容〉

中心市街地内の主要観光施設年間入込客数の増加に向けた各事業については、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、一部遅れは出ているものの、計画期間内に完了することで進められている。令和4年度の入込客数は、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大幅に減少していたが、瀬戸内国際芸術祭2022の開催期間中は入込客数の増加が見られており各施設とも回復傾向となった。玉藻公園については7月に桜御門が完成したことから来園者が増加している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 新県立体育館整備事業（香川県）

事業実施期間	令和3年度～令和6年度【実施中】
事業概要	競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設としての機能に加え、コンサートやMICEなど、多くの集客交流が見込まれるイベントが開催できる交流推進施設としての機能を備えた体育館を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】32,647人 建設工事着手済み。概ね当初の計画どおり進捗している。
事業の今後について	令和3～6年度 建設工事 令和6年11月 竣工予定 令和7年3月 香川県立アリーナとして開館予定

② 高松駅周辺開発事業（四国旅客鉄道株式会社）

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【実施中】
事業概要	交通結節点である高松駅周辺において集客機能のあるにぎわい施設を整備し、利便機能の拡充を図ることで香川県内外からの広域的な誘客を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】54,250人 基礎工事及び鉄骨建て方実施中。概ね順調である。
事業の今後について	建設工事の実施及び令和5年10月頃、工事竣工予定。同年中に商業施設開業予定。

③ ART SETOUCHI（瀬戸内国際芸術祭）（瀬戸内国際芸術祭実行委員会）

事業実施期間	平成22年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	3年に1回の現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」のほか、芸術祭開催年以外でイベント等により瀬戸内海の魅力発信・誘客の活動を実施するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国際文化芸術発信拠点形成事業（文部科学省）（平成30年度～）

間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【事業目標値】 4, 3 9 6 人</p> <p>【最新値】 (72 万人 (2022 来場者) -104 万人) × 22. 2% × 60% $\div \Delta 42, 624$ 人</p> <p>$\Delta 42, 624$ 人 × 69. 1%73. 2% × (1. 725-1) $\div \Delta 15, 631$ 人</p> <p>「瀬戸内国際芸術祭 2 0 2 2」を開催し、約 7 2 万人の来場者があった。</p>
事業の今後について	引き続き、これまでに蓄積されたアートの資源を活用したアートイベント等を実施する。

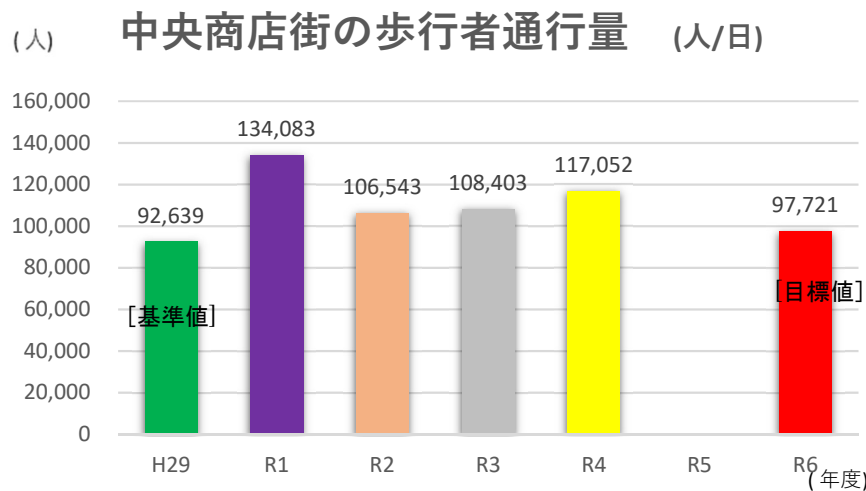
●目標達成の見通し及び今後の対策

「中心市街地内の主要観光施設年間入込客数」については、令和 4 年度は、瀬戸内国際芸術祭 2 0 2 2 の開催年ということもあり、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、入込客数が増加した。高松空港の国際線定期運航が再開に伴い、今後はインバウンド来街者が大幅増加していくと予測されており、引き続き感染拡大防止対策を講じながら、各種イベントを開催するなど、入込客数の増加に努めていきたい。

「中央商店街における歩行者等通行量」

※目標設定の考え方基本計画 P 9 8 ~ 1 0 4 参照

●調査結果の推移



* R 1 年度は下半期よりカメラ画像解析による計測を開始したため、下半期数値の平均としている。

H 3 0 年度のデータがないため、H 2 9 年度を基準値とする。

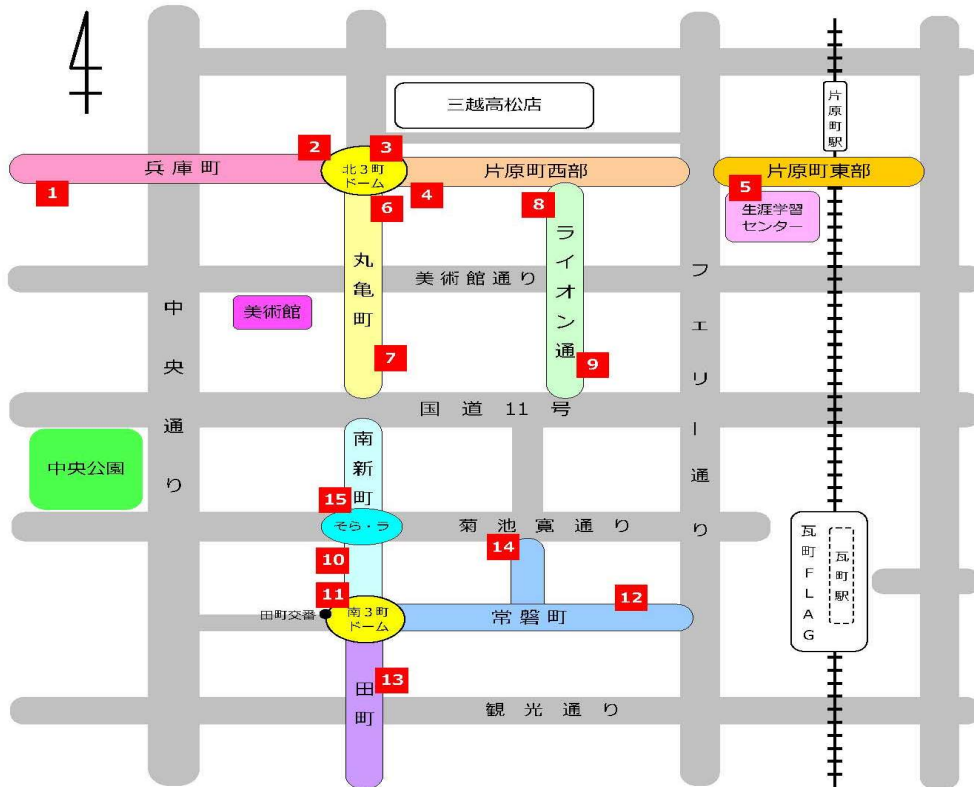
※調査方法：中央商店街の 1 5 地点で自動計測（カメラ画像解析）を実施

※調査月：各年度 4 月 1 日～3 月 3 1 日

※調査主体：高松市・高松中央商店街振興組合連合会

※調査対象：毎日（1 0 時から 1 9 時まで）の中央商店街 1 5 地点の歩行者（自転車を含む。）

中央商店街通行量調査調査地点（15地点）



〈分析内容〉

中央商店街における歩行者通行量の増加に向けた各事業については、概ね予定通り進捗している。新型コロナウイルス感染者が、第7波、第8波は急増したこともあって、全体的に出控える傾向の中、8月、9月の通行量は減少傾向となったが、瀬戸内国際芸術祭の効果や、GOTOキャンペーン等により多くの方が、開催されたイベントや催し物に来街されており、とりわけ3年ぶりに行動制限のない年末年始の通行量は、新型コロナウイルス感染症感染拡大前と同程度まで回復した。全体としても歩行者通行量は前々年比110%、前年比108%増と増加傾向となり、目標を達成した。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 新県立体育館整備事業（香川県）

事業実施期間	令和3年度～令和6年度【実施中】
事業概要	競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設としての機能に加え、コンサートやMICEなど、多くの集客交流が見込まれるイベントが開催できる交流推進施設としての機能を備えた体育館を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】514人 建設工事着手済み。概ね当初の計画どおり進捗している。
事業の今後について	令和3～6年度 建設工事 令和6年11月 竣工予定 令和7年3月 香川県立アリーナとして開館予定

② 高松丸亀町子育て支援施設整備事業（高松まちづくり株式会社・NPO法人わははネット）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	再開発施設内に子育て支援施設を整備し、NPO法人による運営を行うことで子育て世代の女性が子どもを産みやすく、働きやすい環境を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】14人 【最新値】(18人/日-29人/日) × 0.6 × 2 (往復) ÷ △13人/日 令和4年1月31日に新築工事が完了し、2月1日から事務所を移転して子育て支援事業を実施している。
事業の今後について	令和4年度は、午前午後5組ずつの利用制限をしておの営業であったが、今後は「讃岐おもちゃ美術館」と連携し、相乗効果を狙う。

③ 大工町立体駐車場整備事業（高松まちづくり株式会社）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	高松市大工町・磨屋町再開発事業で整備された施設における床の一部を取得し、隣接商店街のための利用客用駐車場として運営。
国の支援措置名及び支援期間	特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定（経済産業省）（令和3年度） 中心市街地における低利融資（企業活力強化貸付（企業活力強化資金））（経済産業省）（令和3年度） 特定民間中心市街地経済活力向上事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減（経済産業省）（令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】455人 【最新値】144台 × 1.40回 × 1.3人/トリップ ÷ 262人 駐車場部分については、仮使用検査を経て令和3年12月22日に開業し、建物全体としては令和4年1月31日に竣工した。
事業の今後について	令和4年12月段階では、夜の利用が少なく、休日よりも平日利

について	用の方が多いことから、休日と夜利用を高める施策として、長時間割引の強化を同年年12月1日から行った。年明けからは休日の入出庫台数が平日のそれを上回るようになった。しかし夜間については相変わらず利用が伸びておらず、夜間割引等の施策を行う。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

④ 大工町ものづくり育成店舗整備事業（高松まちづくり株式会社）

事業実施期間	令和2年度～令和4年度【完了】
事業概要	再開発施設内に香川県のものづくりを担うデザイナーやクリエイターが集う施設を整備し、県外や海外から訪れる観光客に、香川のものづくりの体験や伝統産業の逸品などを提供することで、新たな魅力を創出し、商店街への来街意欲を促進させるもの。
国の支援措置名及び支援期間	特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定（経済産業省）（令和3年度～4年度） 中心市街地における低利融資（企業活力強化貸付（企業活力強化資金））（経済産業省）（令和3～4年度） 特定民間中心市街地経済活力向上事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減（経済産業省）（令和3～4年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】302人 【最新値】 $238 \text{ 人/日} \div 1105.72 \text{ m}^2 \doteq 0.21 \text{ 人/m}^2 \cdot \text{日}$ $0.21 \text{ 人/m}^2 \times (1105.72 \text{ m}^2 \times 0.7) \times 0.6 \times 2 \text{ (往復)} \times (279/365 \text{ 日}) \doteq 149 \text{ 人}$ 令和4年4月10日の内装工事完了、同年4月25日に開業した。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染拡大時であったことから、事前予約制で人数制限をしておいた開業であった。現在は人数制限を緩和しているものの、予約がないと入れないというイメージがついており、これを払拭する必要がある。令和5年3月1日からは、事前予約を不要とし、午前午後の完全入替制も廃止した。 2023年版の観光情報誌にもすでに本施設の情報が掲載され、広域集客に力を入れている。また、小学校の遠足など、団体客の受け入れも行っており、利用拡大を図る。

⑤ 高松市創業支援事業（高松市）

事業実施期間	平成27年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	高松商工会議所や金融機関等の地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者を支援するもの。

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【事業目標値】222人</p> <p>【最新値】R1年創業者数135人 R2年創業者数165人 R3年創業者数174人</p> <p>158名×6年(計画期間)×23.3%×13.4%×11.1%≒3店舗</p> <p>3店舗×108人/店舗×0.6×2(往復)×312/365日≒332人</p> <p>令和2年2月に創業支援事業者と共同で開設した相談窓口である「たかまつ創業サポートセンター」と、連携して創業者や創業希望者等を支援している。</p>
今後事業について	引き続き、地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者等への支援を行い、創業相談件数の増加を図る。

⑥ 南部3町商店街活性化マチカドプラザ事業(株式会社高松南部3町商店街プロジェクト)

事業実施期間	平成30年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	南部3町商店街の活性化に向けて、商店街の情報発信、各種情報発信ツールによる各店舗情報の提供などを行い、情報発信力の強化を図るとともに、4町パティオの有効活用を検討するなど、利用促進と回遊性を高めるもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【事業目標値】778人(年間1店舗、計画期間で6店舗の新規出店があると想定)</p> <p>【最新値】R1年8店舗 R2年10店舗 R3年14店舗 R4年16店舗の新規出店</p> <p>48店舗×108人/店舗×0.6×2(往復)≒6,221人</p> <p>商店街に設置の情報発信スペースが好評。商店街でのイベント開催や、外部企業・団体からのタイアップやコラボの依頼も増加している。特に高校生によるイベントやチャレンジショップは、これまでに無かった初めての事例。地元アーティストやV Tuberとのコラボも注目度アップに繋がっている。</p>
今後の事業について	引き続き、商店街の魅力向上に向けたプロモーションやコラボレーションに取り組んでいく。情報発信や企画実施の体制は整ってきた。長期的な活性化を視野に、新たな事業への取り組みと、全く来街されることがないお客様に対する集客が課題。

⑦ 高松市中央商店街空き店舗活用事業（高松市）

事業実施期間	平成24年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	中央商店街の区域に所在する空き店舗に新たに出店する事業者に対し、改装費の一部を補助するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】1,166人（計画期間内に9店舗の新規出店を想定） 【最新値】R1年度10店舗、R2年度8店舗 R3年度7店舗 R4年度10店舗 35店舗×108人/店舗×0.6×2（往復）≒4,536人 改装費の一部助成を継続して実施し、令和4年度は、計10件の出店に対して補助金の交付決定を行った。
今後の事業について	引き続き、高松中央商店街の空き店舗を対象として、新規出店補助制度の周知啓発を進め、空き店舗の解消が進展するよう継続して事業を実施する。

⑧ 高松丸亀町商店街情報発信事業（高松丸亀町商店街振興組合）

事業実施期間	平成25年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	外国人観光客などの来訪者に対して商店街の店舗情報やイベント情報などローカルな情報に加え、中央商店街全体の情報や広域的な観光情報等を提供し、利用促進と回遊性の向上を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】1,166人（計画期間内に9店舗の新規出店を想定） 【最新値】R1年度10店舗、R2年度8店舗 R3年度7店舗 R4年度10店舗 35店舗×108人/店舗×0.6×2（往復）≒4,536人 令和元年に開業したインフォメーションセンターは新型コロナウイルス感染症の影響による観光客減少もあり閉鎖をした。商店街Webサイトでの情報発信に移行している。
今後の事業について	新型コロナウイルスの収束を見極めた上で、必要な情報発信をWebサイトや商店街内のデジタルサイネージを使って発信する。また、開業された、大工町ものづくり育成店舗の告知に力を入

	れる。
--	-----

⑨ 高松駅周辺開発事業（四国旅客鉄道株式会社）

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【実施中】
事業概要	交通結節点である高松駅周辺において集客機能のあるにぎわい施設を整備し、利便機能の拡充を図ることで香川県内外からの広域的な誘客を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】178人 基礎工事及び鉄筋建て方実施中。概ね順調である。
事業の今後について	建設工事の実施及び令和5年10月頃、工事竣工予定。同年中に商業施設開業予定。

⑩ ART SETOUCHI（瀬戸内国際芸術祭）（瀬戸内国際芸術祭実行委員会）

事業実施期間	平成22年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	3年に1回の現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」のほか、芸術祭開催年以外でイベント等により瀬戸内海の魅力発信・誘客の活動を実施するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国際文化芸術発信拠点形成事業（文部科学省）（平成30年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】14人 【最新値】 $\Delta 15,631 \text{ 人} \div 365 \text{ 日} \times 0.6 \times 2 \text{ 往復} \doteq \Delta 51 \text{ 人}$ 「瀬戸内国際芸術祭2022」を開催し、約72万人の来場者があった。
事業の今後について	引き続き、これまでに蓄積されたアートの資源を活用したアートイベント等を実施する。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「中央商店街における歩行者通行量」については、新型コロナウイルス感染症感染拡大前と比べ減少はしているが、令和4年度は、瀬戸内国際芸術祭やGOTOキャンペーンの再開などによって多くの方が来街しており、目標は達成している状況である。

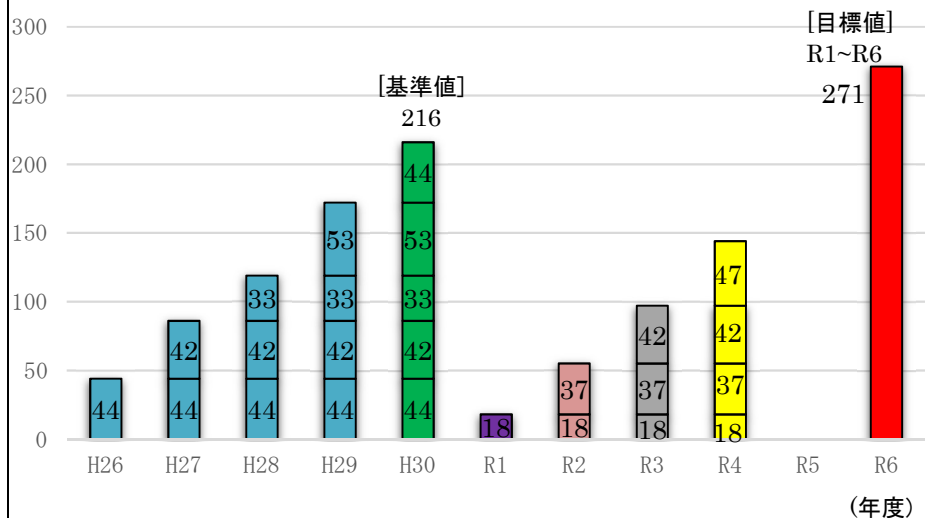
今後、区域内のマンション完成による居住者や出張・旅行者などの来街者の通行が見込まれるほか、後述する市街地再開事業の完了、更には、高松空港国際線の一部再開によるインバウンドが大幅に増加することが予測されており、これらの経済活動の活発化による、集客の拡大が期待できることから、イベントの実施等も併せて行うことにより、通行量の更なる増加につなげたい。

「新規出店数」

※目標設定の考え方基本計画P105～P106参照

●調査結果の推移

新規出店数（累計）



年	店舗数（累計）
H30	216 (H26.4~H31.3) (基準値)
R1	18 (充足率 7%)
R2	55 (充足率 20%)
R3	97 (充足率 36%)
R4	144 (充足率 53%)
R5	—
R6	271 (R1.7~R7.3) (目標値)

※調査方法：年2回、中央商店街店舗立地動向調査を実施

※調査月：6月、12月（取りまとめは、7月及び1月）

※調査主体：高松市・高松商工会議所

※調査対象：高松中央商店街を構成する8商店街振興組合

〈分析内容〉

新規出店数の増加に向けた各事業については、概ね予定通り進捗している。前年は中央商店街区域内のマンション建設により店舗数が21店舗減と大きく減少したが、令和4年度については、創業支援制度利用や空き店舗への出店補助件数が増加しており、新規出店数は5店舗増、空き店舗数は10店舗減となり、回復傾向が見られた。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 南部3町商店街活性化マチカドプラザ事業(株式会社高松南部3町商店街プロジェクト)

事業実施期間	平成30年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	南部3町商店街の活性化に向けて、商店街の情報発信、各種情報発信ツールによる各店舗情報の提供などを行い、情報発信力の強化を図るとともに、4町パティオの有効活用を検討するなど、利用促進と回遊性を高めるもの。
国の支援措置名及び支援期	国の支援措置なし

間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【事業目標値】6店舗（年間1店舗、計画期間で6店舗の新規出店があると想定）</p> <p>商店街に設置の情報発信スペースが好評。商店街でのイベント開催や、外部企業・団体からのタイアップやコラボの依頼も増加している。特に高校生によるイベントやチャレンジショップは、これまでに無かった初めての事例。地元アーティストやV T u b e r とのコラボも注目度アップに繋がっている。</p>
今後の事業について	<p>引き続き、商店街の魅力向上に向けたプロモーションやコラボレーションに取り組んでいく。情報発信や企画実施の体制は整ってきた。長期的な活性化を視野に、新たな事業への取り組みと、全く来街されたことがないお客様に対する集客が課題。</p>

② 高松市中央商店街空き店舗活用事業（高松市）

事業実施期間	平成24年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	中央商店街の区域に所在する空き店舗に新たに出店する事業者に対し、改装費の一部を補助するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【事業目標値】9店舗</p> <p>【最新値】R1年度10店舗、R2年度8店舗 R3年度7店舗 R4年度10店舗</p> <p>9店舗/年×(1.2-1)×5年9ヶ月(計画期間)≒11店舗</p> <p>改装費の一部助成を継続して実施し、令和4年度は、計10件の出店に対して補助金の交付決定を行った。</p>
今後の事業について	引き続き、高松中央商店街の空き店舗を対象として、新規出店補助制度の周知啓発を進め、空き店舗の解消が進展するよう継続して事業を実施する。

③ 高松丸亀町商店街情報発信事業（高松丸亀町商店街振興組合）

事業実施期間	平成25年度～【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	外国人観光客などの来訪者に対して商店街の店舗情報やイベント情報などローカルな情報に加え、中央商店街全体の情報や広域的な観光情報等を提供し、利用促進と回遊性の向上を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【事業目標値】9店舗</p> <p>【最新値】R1年度10店舗、R2年度8店舗 R3年度7店舗 R4年度10店舗</p> <p>9店舗/年×(1.2-1)×5年9ヶ月(計画期間)≒11店舗</p> <p>令和元年に開業したインフォメーションセンターは新型コロナウイルス感染症の影響による観光客減少もあり閉鎖をした。商店街Webサイトでの情報発信に移行している。</p>
今後の事業について	<p>コロナウイルスの収束を見極めた上で、必要な情報発信をWebサイトや商店街内のデジタルサイネージを使って発信する。</p> <p>また、開業された、大工町ものづくり育成店舗の告知に力を入れる。</p>

④ 大工町ものづくり育成店舗整備事業（高松まちづくり株式会社）

事業実施期間	令和2年度～令和4年度【完了】
事業概要	<p>再開発施設内に香川県のものづくりを担うデザイナーやクリエイターが集う施設を整備し、県外や海外から訪れる観光客に、香川のものづくりの体験や伝統産業の逸品などを提供することで、新たな魅力を創出し、商店街への来街意欲を促進させるもの。</p>
国の支援措置名及び支援期間	<p>中心市街地における低利融資（企業活力強化貸付（企業活力強化資金））（経済産業省）（令和3～4年度）</p> <p>特定民間中心市街地経済活力向上事業の用に供する不動産の取得又は建物の建築をした際の登録免許税の軽減（経済産業省）（令和3～4年度）</p>
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【事業目標値】6店舗（年間1店舗、計画期間で6店舗の新規出店があると想定）</p> <p>令和4年4月10日の内装工事完了、同年4月25日に開業した。</p>
事業の今後について	<p>新型コロナウイルス感染拡大時であったことから、事前予約制で人数制限をしておいた開業であった。現在は人数制限を緩和しているものの、予約がないと入れないというイメージがついており、これを払拭する必要がある。令和5年3月1日からは、事前予約を不要とし、午前午後の完全入替制も廃止した。</p> <p>2023年版の観光情報誌にもすでに本施設の情報が掲載され、広域集客に力を入れている。また、小学校の遠足など、団体客の受け入れも行っており、利用拡大を図る。</p>

⑤ 高松市創業支援事業（高松市）

事業実施期間	平成27年度～【実施中】
--------	--------------

	[認定基本計画：令和元年度～令和6年度]
事業概要	高松商工会議所や金融機関等の地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者を支援するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】2店舗 【最新値】R1年創業者数135人 R2年創業者数165人 R3年創業者数174人 158名×6年(計画期間)×23.3%×13.4%×11.1%≒3店舗 令和2年2月に創業支援事業者と共同で開設した相談窓口である「たかまつ創業サポートセンター」と、連携して創業者や創業希望者等を支援している希望者等を支援している。
今後事業について	引き続き、地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者等への支援を行い、創業相談件数の増加を図る。

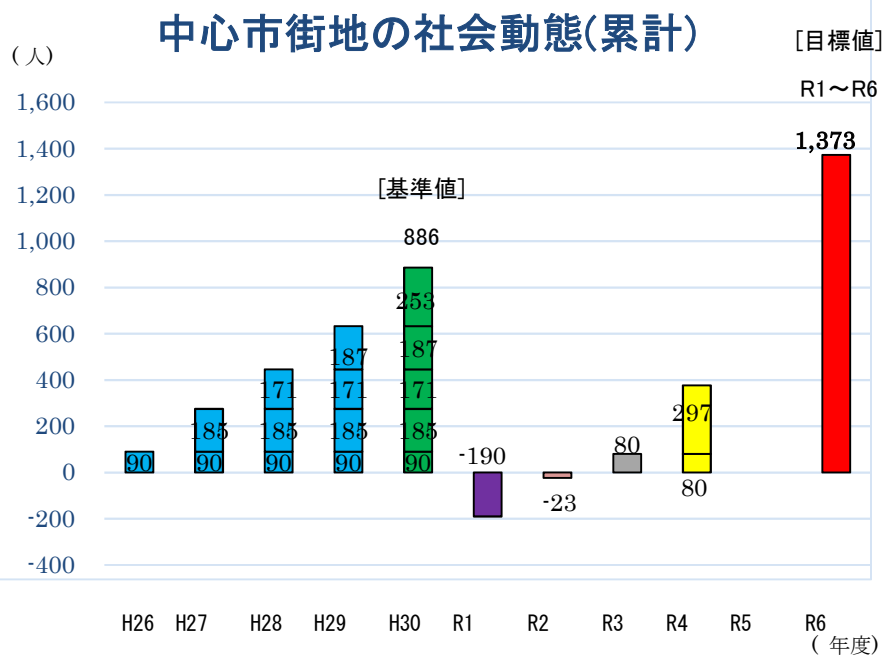
●目標達成の見通し及び今後の対策

「新規出店数」については、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、原材料価格の高騰等による物価上昇によって買い控え傾向にある中、各店舗厳しい経営環境にあるが、これまでの状況からは改善されており目標達成に近づいてきている。区域内のマンション完成による居住者が増加していることから、幅広い業種が出店する機会が増えることで、新規出店が期待できる。

更には、今後新型コロナウイルス感染症の位置づけが変わることで、経済活動が活発化し、新しい生活様式に対応した商店街活性化に向けて、官民が連携し、安定した店舗の経営が継続できるよう、各種施策の実施に努めていきたい。

「中心市街地の社会動態」※目標設定の考え方基本計画P107～109参照

●調査結果の推移



年	人 (累計)
H30	886 (H26.4~H31.3) (基準値)
R1	△190 (充足率-14%)
R2	△23 (充足率-2%)
R3	80 (充足率6%)
R4	377 (充足率27%)
R5	—
R6	1,373 (R1.7~R7.3) (目標値)

※調査方法：中心市街地内における住民基本台帳登録人口

※調査月：4月1日時点調査、同月取りまとめ

R1年度は7月1日～R2年4月1日

※調査主体：高松市

※調査対象：中心市街地内の居住者

〈分析内容〉

令和4年度は、中心市街地全体で転入2,401人、転出2,104人、社会動態は297人増となり、前期からの累計では、プラス377人となった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ① 高松市大工町・磨屋町地区第一種市街地再開発事業(大工町・磨屋町地区市街地再開発組合)

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【実施中】
事業概要	中央商店街の一つである丸亀町商店街C街区の東西にある大工町・磨屋町地区で都市型住宅、商業施設、立体駐車場を備えた再開発施設を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	スマートウェルネス住宅等推進事業（地域生活拠点型再開発事業）（国土交通省）（令和2年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進	【事業目標値】83人 再開発組合が、磨屋町街区の既存建築物の除却工事を、令和4年9

捗状況	月に完了し、施設建築物新築工事に着手している。
事業の今後について	再開発組合が、引き続き磨屋町街区の施設建築物新築工事を進め、令和5年度中に完了する予定である。

② 高松市常磐町地区優良建築物等整備事業(阪急阪神不動産株式会社・四国旅客鉄道株式会社)

事業実施期間	平成31年度～令和5年度【実施中】
事業概要	中央商店街の一つである常磐町商店街のジャスコ跡地において、医療施設、子育て支援施設、共同住宅を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	スマートウェルネス住宅等推進事業(地域生活拠点型再開発事業)(国土交通省)(平成31年度～令和5年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】167人 事業者が、施設建築物新築工事に着手しており、概ね計画どおり進捗している。
事業の今後について	事業者が、引き続き磨屋町街区の施設建築物新築工事を進め、令和5年度中旬に完了する予定である。

③ フラット35活用事業(高松市)

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	高松市立地適正化計画で定める中心市街地を包含する居住誘導区域の外から、区域内へ住み替えた世帯に、住宅の建築・購入等費用の一部助成及び住宅金融支援機構と提携し、住宅ローンフラット35Sの金利の低減(当初5年間△0.25%等)を行うもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】104人 【最新値】R1年実績0件 R2年実績1件 R3年実績0件 R4年実績3件 4件×2.2人/世帯≒9人 ※再開発事業が未完了のため再開発事業による実績の75%は算出式に含まず。 令和4年度の実績は5件(うち中心市街地は3件8人(R3年度の実績7件0名の人口増のみ))となった。
事業の今後について	住宅フェアの開催など、継続的な周知啓発を行い、より多くの方に制度を利用してもらえよう努めていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

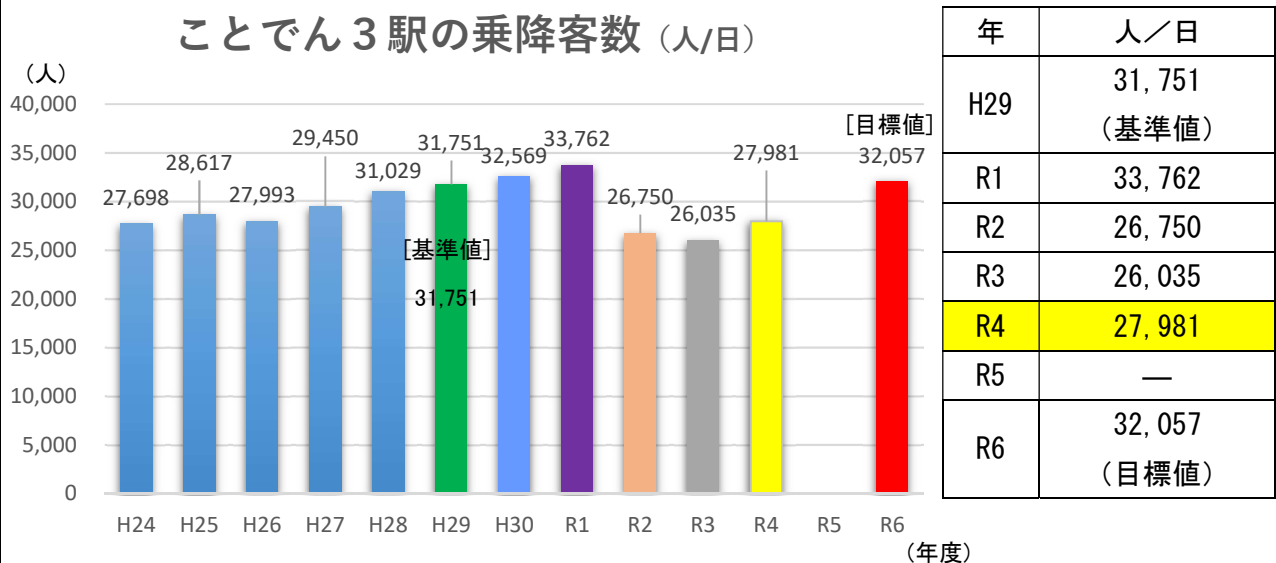
「中心市街地の社会動態」については、目標値から27%と大きく乖離しているが、次年度3棟の分譲マンションの竣工282戸の分譲が予定されていることから、今後の状況を注視していきたい。

現在、実施しているフラット35活用事業の周知啓発や、空き家等の既存ストックの流通を促進する住宅施策を展開するなど、中心市街地で居住選択されるよう効果的な事業の検討・実施に努め、人口増につなげたい。

「(参考指標) ことでん3駅の乗降客数」

※目標設定の考え方基本計画P110～112参照

●調査結果の推移



※調査方法：高松琴平電気鉄道株式会社へ聞き取り

※調査月：毎年1月1日～12月31日

(H24～H30は毎年4月1日～翌年3月31日で集計)

※調査主体：高松琴平電気鉄道株式会社

※調査対象：ことでん3駅（高松築港、片原町、瓦町）の乗降客数

〈分析内容〉

令和4年のことでん主要3駅の乗降客数は、27,981人と前年比107%と増加した。また、通勤通学による定期利用を除く乗降客数が前年比115%となるなど、瀬戸内国際芸術祭2022の開催によって、観光客が公共交通を利用して移動することで、乗降客が増加したことが一因と考えられる。

一方定期利用については、高松市においてはテレワークによる減少幅は少なく、通勤利用客については大きな増減はないが、前年比104%とわずかながら回復傾向となっている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ① 高松丸亀町子育て支援施設整備事業（高松まちづくり株式会社・NPO法人わははネット）

事業実施期間	令和2年度～令和3年度【済】
事業概要	再開発施設内に子育て支援施設を整備し、NPO法人による運営を行うことで子育て世代の女性が子どもを産みやすく、働きやすい環境を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】2人/日 【最新値】(18人/日-29人/日) × 12.4% × 55.1% × 2 (往復) ≒ <u>△2人/日</u> 令和4年1月31日に新築工事が完了し、2月1日から事務所を移転して子育て支援事業を実施している。
事業の今後について	令和4年度は、午前午後5組ずつの利用制限をしておいたが、今後は「讃岐おもちゃ美術館」と連携し、相乗効果を狙う。

② 新県立体育館整備事業（香川県）

事業実施期間	令和3年度～令和6年度【実施中】
事業概要	競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設としての機能に加え、コンサートやMICEなど、多くの集客交流が見込まれるイベントが開催できる交流推進施設としての機能を備えた体育館を整備するもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】181人/日 建設工事着手済み。概ね当初の計画どおり進捗している。
事業の今後について	令和3～6年度 建設工事 令和6年11月 竣工予定 令和7年3月 香川県立アリーナとして開館予定。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「ことでん3駅の乗降客数」については、新型コロナウイルス感染拡大状況によって影響を受けやすく、利用客数が減少していたが、瀬戸内国際芸術祭2022の効果により、今期は回復傾向となった。目標達成は厳しい状況となっているが、感染拡大防止対策等により、定期利用客は回復してきており、今後、乗り継ぎサービスの向上を初めとする各種施策の推進を図ることで、乗降客数を確保していくこととされていることから、今後の動向を確認していきたい。

目標達成に向けた計画掲載事業の推進や、環境配慮の面からも公共交通機関の利用を促すなど、目標値に近づけたい。